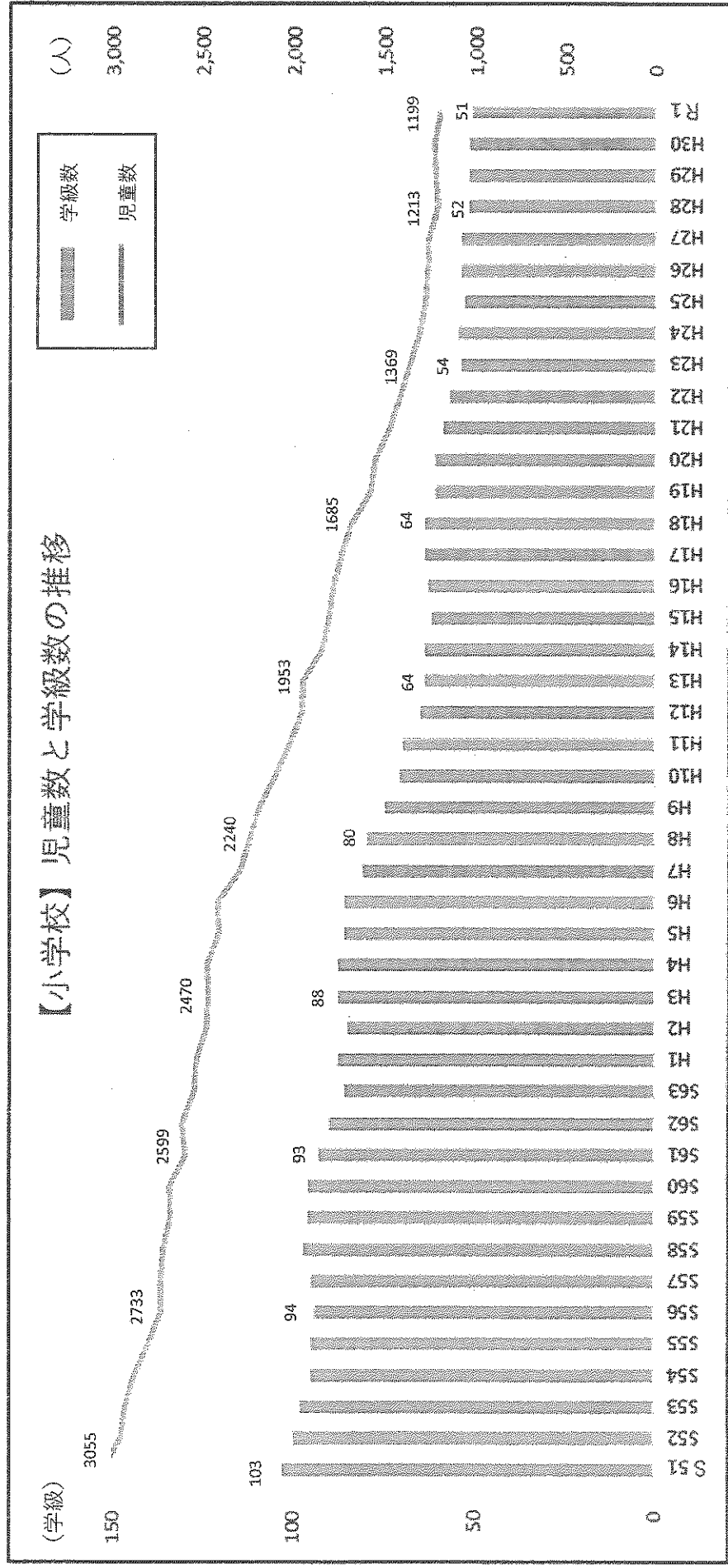


児童生徒数及び学級数の現状

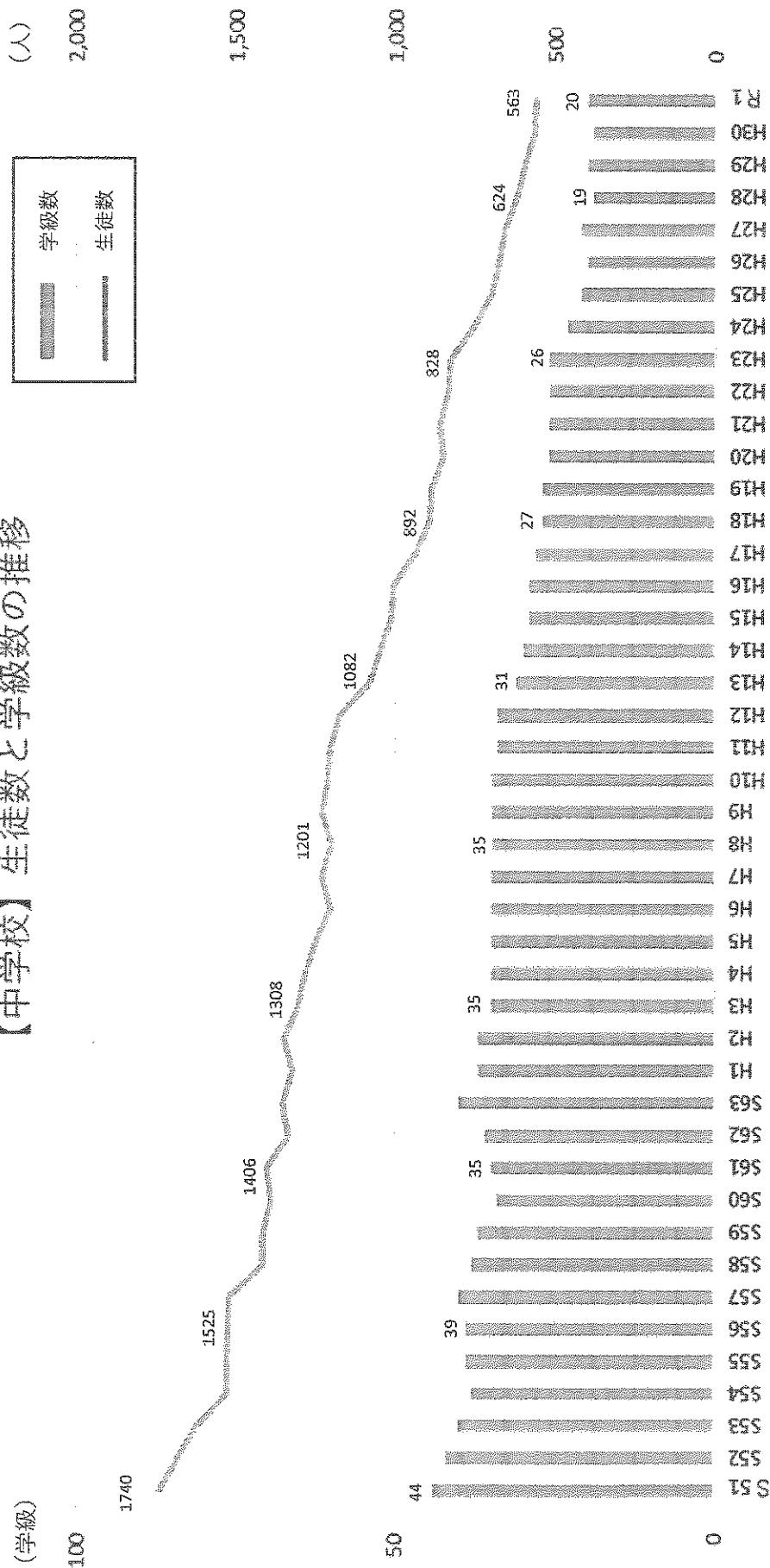
【小学校】児童数と学級数の推移



児童数は、昭和51年度（1976年度）の3,055人と比較し減少傾向にあり、令和元年度（2019年度）においては、1,199人と昭和51年度の約39%となっている。児童数は減少しているが、学級数は8校を維持しているため、学校規模は、昭和51年度の103学級（1学校当たり12.9学級）あったものが、令和元年度には51学級（1学校当たり6.4学級）となっている。

※学級数は、特別支援学級数を除いている。
 ※平成17年度以前については、合併前の3町で算定している。

【中学校】生徒数と学級数の推移



生徒数は、昭和51年度（1976年度）の1,740人と比較し減少傾向にあり、令和元年度（2019年度）においては、563人と昭和51年度の約32%となっており、1,177人減少している。

一方、学校数は昭和30年代より現在の3校となっているが、学校数は3校を維持しているため、学校規模は、昭和51年度の44学級（1学校当たり14.7学級）あったものが、令和元年度には20学級（1学校当たり6.7学級）となっている。

※学級数は、特別支援学級数を除いている。

※平成17年度以前については、合併前の3町で算定している。